

令和元年度公営企業会計決算における 決 算 審 査 意 見 書

- ・西和賀町水道事業会計
- ・西和賀さわうち病院事業会計

西和賀町監査委員

令和2年8月

目 次

令和元年度決算における決算審査結果

1. 審査の対象	1
2. 審査の方法	1
3. 審査の日時と場所及び審査に立ち会った職員	1
4. 審査した監査委員	1
5. 審査の結果	1
6. 水道事業会計決算	2
7. 西和賀さわうち病院事業会計決算	5
8. 審査意見	7

- ① 表中の数値には、それぞれ単位を記入しています。
- ② 文中や表の数値で千円、万円と表示してある場合は、原則としてそれぞれの表示未満の数値を切り捨てています。
- ③ 率と率の比較は、ポイントで表示しました。
- ④ 表中の符号の用法は次のとおりです。
 - 「0.0または0」…該当数値はあるが表示単位未満のものです
 - 「－」…数値のないものです
 - 「△」…マイナスの数値です
- ⑤ 構成比などは、合計が100%になるように一部で調整しています。
- ⑥ 掲載してある表などは、出所を明記しているもの以外は、各課からの資料に基づくものです。

I 令和元年度公営企業会計決算における決算審査概要

1. 審査対象

- 各公営企業会計歳入歳出決算
西和賀町水道事業会計決算
西和賀さわうち病院事業会計決算
- 附属書類
各公営企業会計の決算附属資料

2. 審査の方法

水道事業会計及び病院事業会計の決算書類及び附属書類が、地方公営企業法及び関係諸法令並びに公営企業の財務に関する規定等に準拠して作成されているかを確認し、これらの計数について関係諸帳簿及び関係資料と照合し、必要に応じて関係職員から説明を求め比較分析等の検討を加えて審査した。

3. 審査の日時と場所及び審査に立ち会った職員

令和2年度決算審査(令和元年度決算対象)

月日	時間	対象課等	立ち会った職員、備考	場所
7月	27日 (月)	9:00 ~ 11:55	上下水道課 課長 小林英介、課長代理 高橋茂和、主任技師 藤原 啓、 主任 高橋雅仁	湯田庁舎 2階庁議室
		14:35 ~ 16:30	西和賀 さわうち病院 事務長 高橋光世、主任 赤石広光	西和賀 さわうち病院 大会議室
		監査委員事務局立会者 事務局長 加藤真喜子、書記 内記孝洋		
8月	17日 (月)	9:30 ~ 9:45	講 評	湯田庁舎 3階旧議場

4. 審査した監査委員

高橋政芳代表監査委員、児玉正彦監査委員

5. 審査の結果

審査に付された各事業の決算書類及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成され、財政状況並びに当年度の経営成績を表示しており、予算執行は所期の目的に従い適正に執行されたものと認めた。

1. 水道事業会計

1 事業の概要

業務量は、配水量 652,230 m³、一日平均配水量 1,787 m³、有収水量は 612,420 m³となった。
また、給水人口は 5,388 人、給水戸数は 2,242 戸となった。

○ 業務量

項 目	令和元年度(A)	平成30年度(B)	比較(A)-(B)
給 水 人 口	5,388人	5,538人	△ 150人
上記のうち沢内地区	2,775人	2,850人	△ 75人
上記のうち湯田地区	2,613人	2,688人	△ 75人
給 水 戸 数	2,242戸	2,258戸	△ 16戸
導 水 管 延 長	12,490m	12,490m	0m
送 水 管 延 長	18,280m	18,280m	0m
配 水 管 延 長	147,090m	147,090m	0m
配水能力 (m ³ /日)	3,902m ³ /日	3,902m ³ /日	0m ³ /日
年 間 総 配 水 量	652,230m ³	656,330m ³	△ 4,100m ³
年 間 総 有 収 量	612,420m ³	628,430m ³	△ 16,010m ³
一 日 平 均 配 水 量	1,787m ³	1,798m ³	△ 11m ³

2 予算の執行状況

収益収支では、収入総額1億 9,830 万円に対し、支出総額4億 3,720 万円で、収入総額から支出総額を差し引いた2億 3,890 万円の当年度の純損失となっている。

令和元年度の累積欠損は3億 9,473 万円となっている。

(税抜き)

収益収支			資本収支		
収入総額	支出総額	収入支出差引額	収入総額	支出総額	収入支出差引額
(A)	(B)	(A)-(B)	(C)	(D)	(C)-(D)
198,308,172円	437,209,322円	△238,901,150円	336,500,680円	302,197,745円	34,302,935円

(1)収益の収入及び支出

収益的収入は、予算額2億 1,217 万円に対し、決算額は1億 9,830 万円となっている。内訳は、営業収益1億 1,455 万円、営業外収益 8,375 万円となっている。

収益的支出は、予算額4億 3,226 万円に対し、決算額は4億 3,720 万円となっている。内訳は、営業費用4億 527 万円、営業外費用 2,939 万円、特別損失 254 万円となっている。

○ 収 入

(税抜き)

区 分	令和元年度		平成30年度		増 減 (B)-(D)
	予算額 (A)	決算額 (B)	予算額 (C)	決算額 (D)	
営業収益	125,183,000円	114,555,009円	126,467,000円	117,582,325円	△3,027,316円
営業外収益	86,988,000円	83,753,163円	169,417,000円	169,211,397円	△85,458,234円
水道事業収益	212,171,000円	198,308,172円	295,884,000円	286,793,722円	△88,485,550円

○ 支 出

(税抜き)

区 分	令和元年度				平成30年度		増 減 (B)-(F)
	予算額 (A)	決算額 (B)	繰越額 (C)	不用額 (D)	予算額 (E)	決算額 (F)	
営業費用	402,320,000円	405,270,650円	-	△2,950,650円	418,004,000円	408,938,117円	△3,667,467円
営業外費用	29,449,000円	29,398,159円	-	50,841円	31,408,000円	33,693,877円	△4,295,718円
特別損失	0円	2,540,513円	-	△2,540,513円	0円	0円	2,540,513円
予備費	500,000円	0円	-	500,000円	1,000円	0円	0円
水道事業費用	432,269,000円	437,209,322円	-	△4,940,322円	449,413,000円	442,631,994円	△5,422,672円

(2)資本的収入及び支出の状況

資本的収入は、予算額3億 3,673 万円に対し、決算額は3億 3,650 万円となっている。内訳は、企業債 5,300 万円、出資金2億 8,350 万円となっている。

資本的支出は、予算額3億 3,673 万円に対し、決算額は3億 883 万円となっている。内訳は、建設改良費 7,446 万円、企業債償還金2億 3,436 万円となっている。

○ 収 入

(単位:円、税込み)

区 分	令和元年度		平成30年度		増 減 (B)-(D)
	予算額 (A)	決算額 (B)	予算額 (C)	決算額 (D)	
企業債	53,000,000円	53,000,000円	59,700,000円	57,900,000円	△4,900,000円
出資金	283,733,000円	283,500,680円	181,035,000円	181,035,000円	102,465,680円
負担金	0円	0円	4,095,000円	4,095,946円	△4,095,946円
補助金	0円	0円	31,478,000円	21,697,000円	△21,697,000円
資本的収入	336,733,000円	336,500,680円	276,308,000円	264,727,946円	71,772,734円

○ 支 出

(単位:円、税込み)

区 分	令和元年度				平成30年度		増 減 (B)-(E)
	予算額 (A)	決算額 (B)	繰越額 (D)	不用額 (C)	予算額 (D)	決算額 (E)	
建設改良費	102,364,000円	74,469,960円	27,662,000円	232,040円	137,879,000円	98,459,000円	△23,989,040円
企業債償還金	234,369,000円	234,368,720円	0円	280円	153,552,000円	153,551,880円	80,816,840円
資本的支出	336,733,000円	308,838,680円	27,662,000円	232,320円	291,431,000円	252,010,880円	56,827,800円

3 経理の状況

①事業収入

(単位:円、税抜き)

区 分	令和元年度(A)	平成30年度(B)	比 較
	決 算 額	決 算 額	増 減 (A-B)
1 営 業 収 益	114,555,009	117,582,325	△ 3,027,316
(1) 給 水 収 益	114,425,109	117,576,825	△ 3,151,716
(2) その他の営業収益	129,900	5,500	124,400
2 営 業 外 収 益	83,753,163	169,211,397	△ 85,458,234
(1) 受取利息及び配 当	1,202	1,030	172
(2) 他 会 計 補 助 金	14,699,000	47,894,000	△ 33,195,000
(3) 長期前受金戻入	57,876,065	61,984,027	△ 4,107,962
(4) 雑 収 益	11,176,896	59,332,340	△ 48,155,444
計	198,308,172	286,793,722	△ 88,485,550

②事業費

(単位:円、税抜き)

区 分	令和元年度(A)	平成30年度(B)	比 較
	決 算 額	決 算 額	増 減 (A-B)
1 営 業 費 用	405,270,650	408,938,117	△ 3,667,467
(1) 原水及び浄水費	57,920,128	59,427,057	△ 1,506,929
(2) 配水及び給水費	11,193,347	11,164,432	28,915
(3) 総 係 費	39,974,524	43,643,985	△ 3,669,461
(4) 減 価 償 却 費	281,723,615	294,702,643	△ 12,979,028
(5) 資 産 減 耗 費	14,459,036	0	14,459,036
2 営 業 外 費 用	29,398,159	33,693,877	△ 4,295,718
(1) 支払利息及び企 業債取扱諸費	29,398,159	31,305,642	△ 1,907,483
(2) 雑 支 出	0	2,388,235	△ 2,388,235
3 特 別 損 失	2,540,513	0	2,540,513
(1) 過 年 度 損 益 修 正 損	2,540,513	0	2,540,513
計	437,209,322	442,631,994	△ 5,422,672

2. 町立西和賀さわうち病院事業会計

1 事業の概要

当年度の入院患者数は 9,509 人で、前年度に比べ 660 人減少し、前年度 20 年ぶりに到達した 1 万人台を割り込むことになった。医科外来は 22,600 人で、前年度に比べ 209 人減少、歯科外来は 7,621 人で、前年度に比べ 163 人減少となり、医科と歯科を含めた外来患者数全体でも前年度を下回っている。

○業務量

①施設利用者数

区 分	入 院	医科外来	歯科外来
令和元年度	9,509人	22,600人	7,621人
平成30年度	10,169人	22,809人	7,784人
対前年比	△ 660人	△ 209人	△ 163人
	△ 6.5%	△ 0.9%	△ 2.1%

②病床利用状況

区 分	年延病床数	年延入院患者数	利用率
令和元年度	14,640床	9,509人	65.0%
平成30年度	14,600床	10,169人	69.7%

③一日平均取扱患者数

区 分	年延診療日数	年延患者数	一日平均患者数
入 院	366日	9,509人	26.0人
医科外来	287日	22,600人	78.7人
歯科外来	239日	7,621人	31.9人

2 予算の執行状況

収益収支では、収入総額9億 825 万円に対し、支出総額9億 5,959 万円で、収入総額から支出総額を差し引いた 5,133 万円の当年度の純損失となっている。

令和元年度末の累積欠損は7億 330 万円となっている。

①収益収支

(税抜き)

年度	収入			支出			収入支出
	予算額 (A)	決算額 (B)	執行率 (B)/(A)	予算額 (C)	決算額 (D)	執行率 (D)/(C)	差引額 (B)-(D)
令和元	907,495,000円	908,258,833円	100.1%	983,459,000円	959,598,290円	97.6%	△51,339,457円
30	883,349,000円	895,840,202円	101.4%	990,639,000円	964,159,562円	97.3%	△68,319,360円
29	842,812,000円	863,553,915円	102.5%	1,000,028,000円	996,937,155円	99.7%	△133,383,240円

②資本収支

(税抜き)

年度	収入			支出			収入支出
	予算額 (A)	決算額 (B)	執行率 (B)/(A)	予算額 (C)	決算額 (D)	執行率 (D)/(C)	差引額 (B)-(D)
令和元	88,148,000円	88,146,623円	100.0%	88,148,000円	88,146,623円	100.0%	0円
30	59,778,000円	59,776,121円	100.0%	59,778,000円	59,776,121円	100.0%	0円
29	65,991,000円	65,987,853円	100.0%	65,991,000円	65,987,853円	100.0%	0円

(1)収益的収入及び支出

収益的収入の決算額は9億 825 万円で、前年度と比べて 1,380 万円の増加となる。内訳は、医業収益は5億 5,339 万円で、前年度と比べて 880 万円減少している。医業外収益は3億 5,485 万円で、前年度と比べて 2,261 万円増加している。

収益的支出の決算額は9億 5,959 万円で、前年度と比べて 317 万円の減少となる。内訳は、医業費用9億 3,956 万円で、前年度と比べて 527 万円減少している。医業外費用は 2,003 万円で、前年度に比べて 210 万円増加している。

○収 入

(税抜き)

区 分	令和元年度		平成30年度		増 減 (B)-(D)
	予算額 (A)	決算額 (B)	予算額 (C)	決算額 (D)	
医業収益	552,676,000円	553,399,360円	546,263,000円	562,201,353円	△8,801,993円
医業外収益	354,818,000円	354,859,473円	337,085,000円	332,247,850円	22,611,623円
特別収益	1,000円	-	1,000円	-	-
病院事業収益	907,495,000円	908,258,833円	883,349,000円	894,449,203円	13,809,630円

○支 出

(税抜き)

区 分	令和元年度				平成30年度		増 減 (B)-(F)
	予算額 (A)	決算額 (B)	繰越額 (C)	不用額 (D)	予算額 (E)	決算額 (F)	
医業費用	981,163,000円	939,565,783円	-	41,597,217円	988,363,000円	944,842,369円	△5,276,586円
医業外費用	2,294,000円	20,032,507円	-	△17,738,507円	2,274,000円	17,926,194円	2,106,313円
特別損失	1,000円	-	-	1,000円	1,000円	-	-
予備費	1,000円	-	-	1,000円	1,000円	-	-
病院事業費用	983,459,000円	959,598,290円	-	23,860,710円	990,639,000円	962,768,563円	△3,170,273円

(2)資本的収入及び支出

資本的収入及び支出の決算額は 8,814 万円で、前年度と比べて 2,837 万円増加している。

○収 入

(税抜き)

区 分	令和元年度		平成30年度		増 減 (B)-(D)
	予算額 (A)	決算額 (B)	予算額 (C)	決算額 (D)	
企業債	19,600,000円	19,600,000円	7,800,000円	7,800,000円	11,800,000円
出資金	4,206,000円	4,205,093円	4,588,000円	4,586,696円	△381,603円
負担金	61,592,000円	61,591,530円	44,924,000円	44,923,425円	16,668,105円
補助金	2,750,000円	2,750,000円	2,466,000円	2,466,000円	284,000円
資本的収入	88,148,000円	88,146,623円	59,778,000円	59,776,121円	28,370,502円

○支 出

(税抜き)

区 分	令和元年度				平成30年度		増 減 (B)-(E)
	予算額 (A)	決算額 (B)	繰越額 (D)	不用額 (C)	予算額 (D)	決算額 (E)	
建設改良費	26,556,000円	26,555,093円	-	907円	14,854,000円	14,852,696円	11,702,397円
企業債償還金	61,592,000円	61,591,530円	-	470円	44,924,000円	44,923,425円	16,668,105円
資本的支出	88,148,000円	88,146,623円	-	1,377円	59,778,000円	59,776,121円	28,370,502円

3. 審査意見

水道事業会計については、地方公営企業法が適用される会計に移行して2回目の決算となる。

本年度の業務実績は、給水人口は5,388人、給水戸数は2,242戸で、前年度と比較すると給水人口は150人、給水戸数は16戸の減少となった。さらに、年間配水量は652,230 m³、有収水量は612,420 m³で、前年度と比較すると年間配水量は4,100 m³、有収水量は16,010 m³とそれぞれ減少となった。

経営成績は、総収益が198,308,172円、総費用が437,209,322円で、総収益から総費用を差し引いた238,901,150円の当期純損失となった。なお、前年度と比較して、総収益は88,485,550円減少、総費用は5,422,672円減少し、当期純損失は83,062,878円増加している。

また、未収金は7,851,130円となり、前年度に比べ1,525,548円減少している。未収金の回収には常日頃より鋭意尽力されているが、受益者の公正負担の原則や経営の健全性のためにも、引き続き一層の管理回収に万全を期して頂きたい。

水道事業においては、安全な水を安定的に適正価格で供給し続けていくために、人口減少に伴う給水収益の減少、経年劣化に伴う管路の更新、高度化する水質管理の対応や、災害時における安全かつ安定した事業の遂行が今後さらに求められている。公共の目的を有する企業として、健全で効率的な事業の維持発展のために一層の経営努力を期待したい。

本年度の西和賀さわうち病院事業会計の業務実績について、延べ患者数は入院9,509人、医科外来22,600人、歯科外来7,621人となった。前年度と比較すると入院660人、医科外来209人、歯科外来163人とそれぞれ減少となった。

経営成績は、総収益が908,258,833円、総費用が959,598,290円で、総収益から総費用を差し引いた51,339,457円の当期純損失となった。なお、前年度と比較して、総収益は13,809,630円増加、総費用は3,170,273円減少し、当期純損失は16,979,903円減少している。

本年度も黒字にはならなかったものの、患者数は前年度と比較して入院・外来とも減少したが、収益及び費用面の見直しなどに取り組んだ結果、赤字幅が縮小し、財務面の改善も図られており一定の評価をしたい。

今後の事業運営にあたっては、人口減少が進む中、一定の地域医療の機能を維持するため、安定した経営基盤の確立に向け、医業収益などの確保に努力するとしているほか、平成29年3月には、西和賀さわうち病院が果たすべき今後の役割を明確化するとともに、経営の効率化や再編・ネットワーク化などを通じてより質が高く持続可能な病院経営を目指すとして「町立西和賀さわうち病院改革プラン」を策定している。本改革プランの計画期間は平成29年度から令和2年度までの4年間で、本年度はその最終年度となっており、これまでの取り組みの成果に期待したい。

西和賀さわうち病院の経営理念である「地域唯一の病院として、生命の尊重と人間愛の精神に則って、地域の人々の生命を守り、地域医療の充実、発展に貢献する」との経営方針を念頭に、地域医療の充実と高度で良質な医療サービスの提供に努められ、地域住民から信頼される医療拠点としての責務を果たされるよう望むものである。